令和７年度　学校経営計画書

井原市立木之子中学校

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

☆　地域にあって、地域とともに、地域の子どもを育てる。
☆　地域の将来を担うひとづくりを目指し、日々の教育活動を実践する。

○ 内外の環境分析

［外部環境］
・本校は自然に恵まれた環境にあり、地域の人々は学校に対して大変協力的である。
・本校は４小学校区からなっているが、それぞれの地域には強い共同体意識がある。学区内に娯楽施設や大規模商店はなく、落ち着いた環境で学習に励むことができる。

［内部環境］
・全校９学級（通常学級６学級、特別支援学級３学級）である。
・素直で純朴な生徒が多く、授業に落ち着いて取り組んでいる。家庭学習の習慣化のさらなる向上を図る必要がある。
・学校行事に積極的に取り組める。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

☆生徒にとって学びたい楽しい学校、保護者や地域の人々にとって学ばせたい学校、職員にとって働きたい学校の実現。
・一人一人が生き生きと学ぼうとする意欲的な生徒が育つ学校。
・お互いの立場を尊重し、信頼を深め合う生徒が育つ学校。
・たくましい体力とそれを支える強い精神力とを鍛えようとする生徒が育つ学校。
・一人一人が達成感や充実感を感じる魅力ある学校。

○ 令和７年度の具体的な学校経営目標

［本年度の指導の重点］

１　爽やかで、夢や希望をもつ生徒の育成

(1)場に応じた言葉づかいや態度を身に付け、夢や希望をもたせる取組
・言葉づかいについて、指導すべき場面を見逃さず、具体的に指導する。
・気持ちの良い挨拶（語先後礼の挨拶、自分から挨拶）を奨励する。
・返事や発表の時の態度と声の大きさを指導するととに支持的風土を醸成する。
・コミュニティースクール、ひとづくり事業を活用し、生徒が夢や希望をもち、粘り強く取り組める教育活動を実践する。

(2)他者に迷惑をかけないための交通マナーを守る取組
・並進、一旦停止違反の解消を目指し、効果のある交通指導を行う。
・安全ダスキの着用の定着化を図る。

(3)清掃活動の充実のための取組
・無言清掃期間を設け、自己と向き合うとともに清掃に対する意識を高める。

２　他者への思いやりのある心豊かな生徒の育成

(1)道徳教育の充実を図る取組
・道徳教育推進教師と各学年の道徳担当を中心に授業づくりを行い、特別の教科道徳の授業実践を通して、実際の道徳実践のできる生徒の育成をめざす。

(2)人権意識を高める取組
・人権教育講演会や人権週間での取組を継続する。
・人権教育拠点校事業の成果を活用した教育実践を行う。

(3)生徒の活躍の場を多くする取組
・行事や集会で、生徒による運営や進行など活躍の場を増やすことで、生徒が達成感や充実感を感じることができる学校づくりをめざす。

３　確かな学力を身に付けた生徒の育成

(1)学力向上のための取組
・ＩＣＴ機器を効果的に活用し、わかりやすく楽しい授業づくりをすすめ、意欲的に学ぶ生徒の育成をめざす。
・情報化社会に対応した、情報リテラシーや情報モラル教育を推進する。
・学習意欲の向上と情緒的・社会的発達の促進を目指し、ペアやグループ活動による学び合い学習を積極的に取り入れる。
・授業の中で、自分の考えや思いを表現できる場を設定する。
・「きのこTimes」を工夫改善し、基礎学力の向上を推進する。

(2)家庭学習習慣を確立する取組
・自学ノートに全学年で取り組む。
・メディアコントロール週間を設け、「がんばりカード」の取組を行う。
・生活ノート（フォーサイト手帳）を効果的に活用する。

４　井原市教育委員会指定教育研究発表会(R6・R7)に向けた取組

(1)生徒・学校の実態に応じた研究仮説とその検証をすすめる。
研究テーマ『学びに向かう集団づくり～主体的な学びと人間関係～』

(2)生徒の将来を見据え、将来必要な力をつけるための教育実践を行う。